

2015年度

特別選抜Ⅲ 発信コミュニケーション型(自己推薦入試)

適性検査

問1 例にならって、以下の(1)～(5)の語・表現の使用例として最も適切な例文を各群の①～④の中から一つ選び、○を記しなさい。

例) 黒星

- ① 容疑者はやっぱり黒星だった。
- ② この事件では、警察の黒星続きだ。
- ③ 彼は、陰で人を操る政界の黒星と言われている。
- ④ どちらの主張が正しいか、投票で黒星をつけよう。

(1) 見得を切る

- ① 初めは遠慮していたが、一人が見得を切ると、みんな次々に発言しだした。
- ② 勝手なことばかり言うやつだが、だれも見得を切って反対する勇気がない。
- ③ 私がやると見得を切ってしまった手前、今さらできないとは言えない。
- ④ 一度、知らないと言ってしまったので、見得を切り通すしかないだろう。

(2) 流れに棹さす

- ① 関係のない発言で会議の流れに何度も棹さされて、時間を浪費した。
- ② 世の中の流れにあえて棹さす気持ちで、流行に迎合せずにやっていきたい。
- ③ 流れに棹さし、一旦立ち止まってよく考えてください。
- ④ この調子で流れに棹さして進んでください。

(3) 腹

- ① まったく不当な扱いを受けて、どうしても腹に据えかねる気持ちだ。
- ② あいつの言うことは、どうも腹に落ちない。
- ③ 一度に知識をつめこもうとしても、腹がふくれるばかりで身につかない。
- ④ 優しい励ましに腹がいっぱい、ことばが出ない。

(4) おざなり

- ① 正月の準備にかかりきりで、年賀状を書くのがおざなりになっている。
- ② 何事もみんながやるとおりおざなりにしていれば間違いない。
- ③ おざなりな謝罪のことばでは、誠意が感じられない。
- ④ おざなりに見積もっても、200人ぐらいは集まると予想されている。

(5) 無然

- ① 自信をもって提案した改革案を否決された社長は、無然として黙り込んでいる。
- ② 買ったばかりのパソコンが故障して、しかも修理は有料だと言われ、なんとも無然としないものがある。
- ③ この度はわが社の社員が不祥事を引き起こし、心から無然の意を表する次第でございます。
- ④ 相手の出方次第では、こちらも無然とした強い姿勢で臨まなければならない。

**問2** 以下の(1)～(4)の会話・文章中の、誤った、または、不自然・不適切な語・表現に下線を付け、それが誤っている、または、不自然・不適切である理由を簡単に説明しなさい。

(1) 今回のワールドカップでは、何ひとつとってもコロンビアは日本の上を行っていたから、日本が大敗を喫したのも当然だ。

---

---

---

---

---

(2) 最近の若者は楽に収入を得ることを望む傾向にあり、手に汗して働くことの大切さが理解されないと町工場の経営者は嘆いている。

---

---

---

---

---

(3) 大けがをして、長い間立つことすらできなかったあなたが、3歩歩いた時は、歓喜あまっ  
て涙してしまいました。

---

---

---

---

---

(4) [宿泊客にインターネットの利用について訊かれたホテルのフロント係が]  
1時間200円ご利用できます。

---

---

---

---

---

